

令和5年9月22日

浦添市議会議長 殿

文教委員会  
委員長 比嘉 武宏

### 文教委員会視察報告書

令和5年7月11日から令和5年7月13日まで、委員会視察を実施いたしましたので、下記のとおり報告します。

#### 記

- |         |   |
|---------|---|
| 1 視察期間  | 令和5年7月11日（火）～令和5年7月13日（木）                                 |
| 2 視察場所  | 栃木県佐野市、足利市、東京都足立区   |
| 3 視察項目  | 資格試験等受験料助成事業について<br>史跡足利学校について（現地視察）<br>ギャラクシティについて（現地視察） |
| 4 視察参加者 | 比嘉 武宏（委員長） 仲間 烈（副委員長） 上原 聖也<br>金城 大輔 銘苺 幸乃助 當間 清春 比嘉 克政   |
| 5 調査内容  | 別紙のとおり  |

視察日	令和5年7月12日（水）
視察先	栃木県佐野市 人口 114,695 人 （令和5年4月現在） 市面積 356.04 km <sup>2</sup> 議員定数 24 人
視察市の概要	
<p>佐野市は、東京中心部から70キロ圏内、関東平野の北端、栃木県の南西部に位置しており、市内には、4つのインターチェンジを有している。鉄道では、東西に走るJR両毛線が佐野市と小山市・足利市方面とを結び、東武鉄道佐野線は、田沼駅、佐野駅を通り、館林市を経て東京へとつながっている。また、高速バス新宿線、東京線により首都圏、県都宇都宮と直接結ばれている。産業は、伝統的な石灰・繊維・鋳物工業中心から、プラスチック製品製造業中心の時期を経て、機械・食品中心へと推移してきている。商業については、佐野新都市地区に大型商業施設が進出したことにより、新しい商業地域が形成されている。</p>	
調査項目	
資格試験等受験料助成事業について	
調査理由	
<p>大学等の生徒・学生等が補助対象資格（116資格）を取得する際に必要となる試験の受験料全額を助成し、能力の向上、就業機会の拡充を目的とする当該事業について参考とするため視察を行った。</p>	
調査内容	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本事業の概要について</li> <li>2. 本事業実施に至る経緯（実施の目的など）について</li> <li>3. 補助金の交付状況（交付件数や交付した試験の種類等）について</li> <li>4. 事業開始後の効果や市民等の反応について</li> <li>5. 本事業の課題について</li> </ol>	
考察	
<p>資格試験助成金について 大学生や中高生を対象に全ての国家資格等を受験の可否に関わらず全額助成する制度。リカレントの方にも挑戦することが出来る。 市長の公約でもあるが教育委員会が積極的に働きかけて実現に至った。 予算は265万円で国や県の補助金などはない。 不承認の対象は市税の滞納によるもので、しかし保護者が滞納していても助成対象者が未成年の場合は納税対象者ではないので学生にはあまり影響がないようでとても良い事業だと思った。 また、選ばれる佐野市をコンセプトに行っており、今後の少子化になりつつある行政区に今後子供たちが佐野市を選んでくれるようにまたこのような資格試験助成事業を行うことで県内外から佐野市を選んでくれる事を今後も考えているとのこと。 浦添市も若い街と言われてきたが今後浦添市が選ばれるかどうかは市民の判断でありどの学生にも資格試験助成事業のような学についてしっかりと無償で機会を与えて今後浦添市を担う若者を育てていくためにも必要な事業だと考える。</p>	



視察日	令和5年7月12日（水）
視察先	栃木県足利市 人口 140,932 人 （令和5年1月現在） 市面積 177.76 km <sup>2</sup> 議員定数 24 人
視察市の概要	
<p>足利市は、東京から北へ約80キロメートルの位置にあり、栃木県佐野市・群馬県桐生市・太田市・館林市・邑楽郡に接している。古くから織物のまちとして知られているが、近年はアルミや機械金属、プラスチック工業などを中心に、総合的な商工業都市になっている。また、足利市は日本最古の学校といわれる足利学校や、足利氏ゆかりのぼんな寺をはじめとする数多くの歴史遺産が残されており、今も古き時代の面影を残している。</p>	
調査項目	
史跡足利学校について（現地視察）	
調査理由	
<p>史跡足利学校の概要や、保存整備事業による文化財の適切な保存や継承、成果や課題について学び、また教育遺産（学校建造物）として世界遺産登録に向けた取組について視察し参考にすることを目的とした。</p>	
調査内容	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 史跡足利学校の概要について</li> <li>2. 当初の施設整備事業（内容や成果）について</li> <li>3. 今後の施設整備事業（内容や課題）について</li> <li>4. 世界遺産登録に向けての取組の内容について</li> <li>5. 世界遺産登録への課題について</li> </ol>	
考察	
<p>足利学校 日本で一番古い学校と言われている足利学校。 市民からは「学校さま」と親しまれ、教育の原点、生涯学習の拠点となっている。 現在世界遺産登録に向けて準備を進めている所ではあるが日本の世界遺産暫定一覧にまずはノミネートされないと世界遺産登録は次のステップとなっており、史跡足利学校は一同日本の世界遺産暫定一覧に乗せるように単独で提案を行ったが、「主題の整理や内容の更なる比較検討が必要」と判断され単独での提案は出来なかった。現在は、「近世日本の教育遺産群」として足利学校（足利市）、弘道館・偕楽園（水戸市）、閑谷学校（備前市）、咸宜園（日田市）の構成団体に教育遺産群として暫定一覧表記載資産提案書として令和2年11月に文化庁に提出を行っている。令和5年11月には国際シンポジウムの開催も予定している。現場視察でもとても素晴らしい施設で是非日本の教育の走りとして世界文化遺産登録が叶ってほしい場所だった。 浦添市としても首里王都以前の浦添グスクがあり、県内では首里城をはじめ史跡でも世界文化遺産に選定されている文化遺産が多くある。世界大戦後原型を無くしたといわれているが「浦添ようどれ」は別格であると考え。しっかりとした原型があり、首里の玉陵がありそれよりも古いとされている「浦添ようどれ」は世界文化遺産に値すると思われる。 足利市の話を聞くと暫定一覧表記載資産に入るだけでも現在の審査が厳しくなっていると話を聞くと浦添市もしっかりと文化遺産を世界へ発信していく必要があると考える。</p>	



視察日	令和 5 年 7 月 13 日 (木)
視察先	東京都足立区 人口 691,372 人 (令和 5 年 4 月現在) 市面積 53.25 km <sup>2</sup> 議員定数 45 人
視察市の概要	
<p>足立区は、東京23区の北東部に位置し、東は葛飾区、西は北区、荒川区、北は埼玉県川口市、草加市、八潮市、南は葛飾区、墨田区、荒川区に接している。西新井駅周辺地区や新田地区、千住大橋駅周辺地区などの再開発や新線の開通に伴う沿線地域の都市基盤整備を進めている。</p>	
調査項目	
ギャラクシティについて (現地視察)	
調査理由	
<p>1994年に「こども科学館」という名称で設立。2013年にリニューアル。「夢に出会い、夢に挑戦する」をコンセプトとして、施設での遊びやプログラムを通じて様々な体験できる場所となっており、その先進的で特色ある施設や取組を視察し参考にするを目的とした。</p>	
調査内容	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ギャラクシティの概要 (施設の特徴など) について</li> <li>2. 当該施設ができるまでの経緯 (設立の目的など) について</li> <li>3. 利用者数の推移について</li> <li>4. 利用者の反応について</li> <li>5. 当該施設で行われている特色あるプログラムやイベントなどについて</li> </ol>	
考察	
<p>ギャラクシティ こども目線でもとても素晴らしい施設だった。 人、地域共同、場所を子供たちへしっかりと提供し市民としても足を運びたいような施設だった。 その中にこどもおしごとランドがあり、地域の方が104種の仕事子供たちへ体験させるプログラムはとても魅力的で、浦添市も浦添商工会議所等が行っているものに似てはいるが100種類以上はなく、例えば校長先生や棋士などユニークたっぷりのこどもおしごとランドであった。浦添市も多くの仕事もある中でたくさんの市民と子供たちが触れ合える事業があると素敵だなと感じた。</p>	

